

令和 5 年度 第 3 回尼崎市食育推進懇話会 報告

1 日時 令和 6 年 1 月 22 日(月)午後 2 時～2 時 50 分

2 場所 尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール A 室

3 出席者

【委員】三浦委員、由田委員、吉田委員、金岩委員、濱田委員、濱名委員、堀委員、宮本委員、
福本委員、柳委員

【事務局】健康増進担当部(巽部長)、健康増進課(津田課長、岡本係長、島野、福本)
北部地域保健課(中川係長)

4 欠席者 【委員】横田委員、小笹委員、長尾委員、馬場委員

5 資料

【資料1】第 4 次地域いきいき健康あまがさき(素案) 【資料2】災害時の食の備えに向けた普及啓発

【資料3】食育フェア(尼崎市学校給食展)

6 議事要旨

○開会あいさつ

○議題

協議事項…次期計画(素案)のパブリックコメント結果について、次期計画(案)について

〈資料 1 に基づき、事務局より説明〉

発言者	発言内容
委員	5 月にコロナが 5 類に移行し、子どもの様子が変わった。制限がなくなり、自由になったことで、子どものおながすくようになった。いろいろな分野が交じり合 って、子どもの食を支えていると改めて感じている。
委員	コロナ禍が明け、子どもが自由になったが、小学校ではまだ前を向いた状態で 食事をし、食が楽しくないと言っている。よく食べる子、食べない子がいるが、残 食 0 にする取組が学校で行われており、担任はよく食べる子に追加で盛り付け ている。給食は栄養価が高く、必要以上に食べることで太り、その結果、生活習 慣病教室に行くよう指導が行われている。よく食べられる子に食べてもらうの は、果たして食育なのだろうか？食ハラではないだろうか。学校にはどうした ら、この声が届くのだろうかと感じる。食育として、適量を食べることの指導をし ていただきたい。
会長	学校給食は、決められた栄養価に基づき提供されている。このような状況があ ることを教育委員会へ情報共有してほしい。
委員	第 1 回・第 2 回の懇話会に参加したが、これまでの意見が整理されていると思 う。次世代期という表現になじみがなかったが、わかるようになっているかなと

	思う。先ほどの委員の発言は理解でき、たくさん食べると嬉しくなるので、大切な発言だと思う。
委員	先ほどの学校給食の現状は、確かにあるだろうと思うし、それでは困るなと感じる。バランスよく、みんなが食べるようになったらいいと思う。

協議事項…次年度の食育の取り組みについて(主な取組について)

〈パワーポイントに基づき、事務局より説明〉

発言者	発言内容
委員	子どもや保護者の方に自然体験の機会を提供している。農業体験をした子は、ブロッコリーを食べなかった子が食べるようになることもあり、野菜のおいしさを伝えられる機会になっている。野菜を食べることでバランスよく食べることの底上げとなり、食の魅力を伝えることができればうれしい。
会長	食育が持つ要素を活かし、色々と働きかける工夫が必要だ。
委員	子ども食堂を通して、食育を実施している。野菜は農家から届けてもらうこともあり、農家の人と顔の見えるつながりができるように、子ども達に顔写真を紹介している。子どもと一緒に野菜を洗う、ゆで卵の殻をむく、ごはんを炊くなどをすると嬉しくてよく食べる。子ども達が食の体験をすることができている。
委員	6月の歯と口の健康フェアにブースとして参加している。令和5年度は子ども達が楽しめるものが少なかったなので、次回は子ども向けブースの提案ができればと考えている。子ども連れで参加いただきたい。
委員	コロナ渦は前を向いて食べていたが、少しずつ食の楽しさが戻ってくれればと思う。食が楽しいものであるということは、コロナ渦で制限があったからこそ気づかされた。このことをよかったと考え、少しずつ健康につながればいいと思う。
委員	アレルギーで除去が必要な子がいる。食べたいけれど食べることができる、みんなと一緒に楽しく食べるなど、アレルギーに対しての理解ができる、自分の健康を守るという視点での食育に取り組んでほしい。
事務局	4か月健診や9～10か月健診などを通して健康教育を行っている。また、コロナ前は調理実習を行う際には、みんなが食べられる食材を使用し、参加者のアレルギー有無の確認の上実施していた。実習が再開したら、啓発も含め、取り組んでいきたい。

○協議事項…その他【災害時の食の備えに向けた普及啓発、食育フェア(尼崎市学校給食展)】

発言者	発言内容
会長	災害時の食の備えについて、水 3ℓ／人についても、どこか見えるところに示してほしい。

○閉会挨拶

以 上